

～下記の研究を行います～

『黄色ブドウ球菌菌血症に対するバンドルを用いた
Antimicrobial Stewardship Team(AST)専任薬剤師
の介入が適正治療に及ぼす効果』

【研究責任者】 苗村 彰浩

【研究の目的】黄色ブドウ球菌菌血症は重症化しやすい疾患であるため、血液培養より黄色ブドウ球菌が検出された場合、より適切な治療をすることが必要となる。バンドルとはその治療がより適切になるよう遵守すべきチェック項目を集めたものである。用いるバンドルの内容として血液培養の再検、治療期間の遵守、感染源となりうる感染巣やデバイス等の除去や抜去、適切な抗菌薬への変更、感染性心内膜炎の除外を促す旨を診療録に記載している。AST 薬剤師が介入を実施する前後で、診療録のバンドル記載項目に対する応需率に変化があったのかを目的とし調査を行い、黄色ブドウ球菌菌血症に対する適正治療の推進につなげる。

【研究の期間】 研究許可日～2022 年 3 月 31 日

【研究の方法】

●対象となる患者さん

2017 年 5 月 1 日～2021 年 4 月 30 日までに当院で血液培養より黄色ブドウ球菌が検出された方

●研究に用いる試料・情報の種類

試料：

なし

情報：

性別、年齢、体重、集中治療室入室の有無、感染源、複雑性菌血症の有無、使用抗菌薬、治療期間、AST 医師への相談または感染症内科へのコンサルトの有無、血液培養の結果、治療期間、ソースコントロールの有無、中心静脈カテーテル留置の有無、適切な抗菌薬への変更の有無、心エコーの実施の有無、AST 医師・AST 薬剤師の介入件数等

【研究の資金源】

なし

【利益相反】

臨床研究における利益相反（COI（シーオーアイ）：Conflict of Interest）とは、「主に経済的な利害関係によって公正かつ適正な判断が歪められてしまうこと、または、歪められているのではないかと疑われかねない事態」のことを指します。具体的には、製薬企業や医療機器メーカーから研究者へ提供される謝金や研究費、株式、サービス、知的所有権等がこれにあたります。

なお、本研究の利益相反については、当院の利益相反審査委員会で審査され適切に管理されています。

- ◎本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
- ◎ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
- ◎情報等が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

国立病院機構大阪医療センター
〒540-0006 大阪府大阪市中央区法円坂2丁目1-14
TEL (06) 6942-1331 (代)
研究責任者 薬剤部 (薬剤師) (苗村 彰浩)